

平成23年度 福祉コミュニティーセンターの管理運営に対する評価票

所管課:健康福祉部生活福祉課

評価対象期間:平成23年4月1日～平成24年3月31日

1. 指定管理者

指定管理者	国際ライフパートナー株式会社
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日(5年間)
施設概要	福祉施設としての場所の提供、情報の発信地、施設の特性を生かした福祉事業の展開などを通じて、高齢者、障がい者、児童等の社会参加を促進するとともに、ボランティア活動の育成を図ることを目的とする。
指定管理料	9,500千円(5年間 46,870千円)

2. 管理運営の主な内容

項目	23年度の状況
運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉施設としての場所の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者に対する平等で均一なサービスを心がけるとともに、利用者団体との意見交換を心がけ業務を実施している。 ○自主事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者陶芸教室研修会において、岡山県備前市「夢幻庵・備前焼工房」にて、備前焼きの体験バスツアーを開催した。 ・新たに男性限定のコミセン・カラコロ体操を第2地域包括センターの協力により毎月第2・4火曜日に実施した。 ○施設の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・市の担当部署との協力により、広報を活用してコミセンの活動を掲載した。 ・「コミュニティーセンターだより」を毎月発行した。 ・ホームページによる情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ホームページの内容は、テルウェル西日本(株)に委託し、知的財産・個人情報・表記・表現及び「市としてふさわしいか」等を確認後、掲載している。 ○人権問題の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者が年2回実施する人権研修や市が主催する人権研修において、当該施設の職員が参加させ、正しい認識を持って業務を遂行できるように人権啓発に努めている。 ○安全確保対策 <ul style="list-style-type: none"> ・中学生が「ふれあいルーム」にてよく暴れているため、小さな子ども達にけががないように監視カメラ及び巡回点検により事故防止に努めている。
維持管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ○保守点検 <ul style="list-style-type: none"> ・本社 ビルメンテナンス課の職員において定期的な巡回点検を行っている。 ・2階活動室の空調機修繕工事を行った。 ・1Fトイレフラッシュバルブ取替工事を行った。 ・光ケーブルテレビ導入工事を行った。 ○備品の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・備品管理台帳をもとに管理している。 ○清掃業務 <ul style="list-style-type: none"> ・日常清掃(週5日)、定期清掃(月1回)、特別清掃(年3回)を実施した。 ○警備業務 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪ガスセキュリティーに夜間の機械警備業務を委託した。 ・子どもが利用する部屋に設置している監視カメラの保守点検を実施した。 ○環境保全への取組み <ul style="list-style-type: none"> ・エコキャップ回収箱を設置し、分別によるリサイクル化及びCO2削減に努めた。エコキャップ推進協会に公表されているコミセンの累計回収実績は、90,160個である。 ・環境負荷実態把握調査を実施した。 ・空調設備の温度管理の徹底及びトイレ等の消灯を徹底した。

利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・22年度の利用団体数は、1,216件に対して、23年度は1,227件と若干増加した。。 ・22年度の利用人数は、17,447人に対して、23年度は14,927人と約14.4%減少した。
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> ・22年度の支出は、9,468,971円に対して、23年度は9,498,585円と約0.3%の増加となっている。 主な増加の原因は、新たに光ケーブルテレビを導入した通信費等のランニングコストであったり、自主事業費である。 ・市の支出としては、前年度と比較して増減なし。 22年度 9,500(千円) 23年度 9,500(千円)

3.利用者へのアンケート調査

項目	22年度の状況
調査の実施内容	対象：全施設利用団体 調査期間：平成23年12月1日～12月25日 調査方法：各団体にアンケート用紙を手渡し 回答件数：利用団体47団体のうち43団体 回収率：91.4%（※前年度の回収率は82.4%）
調査の結果	施設利用の感想 <ul style="list-style-type: none"> ・「満足」27件、「やや満足」10件で86.0% ・「やや不満」1件、「不満」は0件であった。
主な要望・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも利用させていただき助かっています。(1件) ・ゆったり使わせていただいて有難うございます。今後もよろしくお願いします。(1件) ・当施設がいつまでも継続できますように(1件) ・無料で使用できることが有難いです。今後も継続していただきたい(1件) ・受付の対応、もう少しやさしくほしい。(1件) ・畳がまた傷んできています、直していただけたら嬉しいです。(1件)

4.施設の評価

管理運営の総合評価	○5	○4	●3	○2	○1
講評	<p>自主事業の取り組みについては、新たな事業として「男性限定コミセン・カラコロ体操」を実施しており、利用者のニーズを踏まえた事業展開に取り組んだことは評価できる。</p> <p>建物・設備の保守管理については、空調機の修繕など適切なメンテナンスを行い良好な利用環境を確保している。また、環境問題への取組みとしてエコキャップ回収箱を設置しており、回収率が昨年と比較して格段に上昇していることから、利用者を巻き込んだ環境問題への取組が伺える。</p> <p>清掃業務については、高所作業等の専門業者による特別清掃を充実させ、良好な利用環境の確保に努めたことは評価できる。</p> <p>利用者数については、前年度より14.4%も減少しているが、会員数の多い団体が活動場所を変更したことによるものであり、利用団体数は増加しているため、今後の経過を見守ることとする。</p> <p>職員の接遇については、良好な対応をされており、施設訪問の際でも利用者から「対応が良くなった」旨の声があったことは評価できる。しかし、アンケートの自由意見欄に職員の接遇について気になる意見が見受けられたため、次回のアンケートに接遇に関する設問を設け検証されたい。</p> <p>これらを総合的に判断すると「3」という評価が妥当であると考えられ、今後更なる創意工夫を行い、利用者の満足度を高めていただきたい。</p>				